

令和4年6月28日

学生各位

高大接続・全学教育推進センター全学教育部門長
教養教育主事

令和4年度 秋学期全学教育科目の授業実施方法等について

令和4年度秋学期の全学教育科目の授業実施方法（遠隔・完全オンデマンド型・対面型・遠隔・リアルタイム型・ハイブリッド(併用)型）等について、取扱いを下記のとおりとします。

記

1. 全学教育科目の開設方針について

(1) 全学教育科目（外国語・健康スポーツ科目を除く）は、複数の学部生が多数履修すること、大人数の授業が多く、また、例年は受講調整（履修希望者が所定の定員を超えた場合抽選等を実施）が行われる科目もあることから、令和4年度は遠隔・完全オンデマンド型（学生が視聴する時間帯を比較的に選べる授業であり、帰宅後[学外]での受講を想定）で開講することを原則とします。

なお、対面型で開講される科目もありますが、1週目及び2週目の授業は、「遠隔・完全オンデマンド型」で開講されます。（この場合、担当教員が、授業支援システム上で授業実施方法の周知を行います）

(2) 外国語科目（英語、初修外国語）及び健康スポーツ科目は、対面で実施することを原則とします。

(3) 教室で行う授業は、試験定員(収容定員の約5割～7割)を上限に、教室の態様や授業の実施方法等を考慮して履修者定員を設定した上で実施します。なお、外国語科目は、前後左右1席ずつ（1m程度）間隔を空けた、市松模様での座席配置が可能となる教室を原則として使用します。

(4) 学内で感染者が発生した場合や地域の感染拡大状況が悪化などした場合は、行動指針の段階を引き上げて、対面授業の実施を中止して、遠隔授業に切り替える可能性があります。授業実施方法は、担当教員が、授業支援システム上で周知を行いますので、授業支援システムを必ず確認するようにしてください。

【参考】

◆YNU 授業支援システム (YNU Learning Management System)

<https://lms.ynu.ac.jp>

◆令和4年度 全学教育科目/教養教育科目 時間割表 掲載場所

授業支援システム HOME>講義一覧>【連絡専用】教育企画課全学教育係>授業・教材の実施

件名:時間割表 全学教育科目/教養教育科目

◆電子シラバス

https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/Public/Syllabus/

◆新型コロナウイルスに係る本学の対応

https://www.ynu.ac.jp/about/president/message/message_03.html

2. 全学教育科目における対面授業の代替措置について

学生本人や同居家族に重症化リスクが高い基礎疾患（高齢者も含む。）があるという理由で登校したくない場合、もしくは、同居家族の心理的不安から対面授業を止められている場合など、対面授業への参加が困難な理由がある場合は、所属学部からの案内に従い、対面授業の代替措置申請を行ってください（申請方法、時期については、所属学部を確認してください）。所属学部より申請が認められた場合、対面授業の代替措置を受けることが出来ます。

令和4年度秋学期の全学教育科目においては、以下のとおり代替措置を実施します。

(1) 外国語科目（英語・初修外国語科目）の代替措置

外国語科目（英語科目、初修外国語科目）は、各学部において対面授業の代替措置による履修が認められた学生のみを対象として、秋学期セメスター科目として、「遠隔・リアルタイム型」の方法で行うクラスを、下記のとおり新規開講します。

① 英語実習科目の開講科目

英語 LR、英語プレゼンテーション、英語ライティング、英語実習 2

② 英語演習科目の開講科目

英語演習 1a、1b、1c

③初修外国語「〇〇語実習 2」の開講科目

ドイツ語実習2、フランス語実習2

※「第3ターム」に代替措置として遠隔にて開講した「実習1」科目言語のみの開講とします。

④初修外国語演習科目の開講科目

履修希望のあった言語について開講することとします。

⑤開講曜日・時限

秋学期のセメスター科目として、下記のとおり開講します。

開 講 曜 日：土 曜 日（10/8,15,22 11/5,12,19,26 12/3,10,17,24 1/7,21,28
2/4(試験日)）

第1時限:英語 LR(※) or 英語演習科目 or 英語実習2

第2時限:英語プレゼンテーション or 英語ライティング

第3時限:初修外国語実習科目(ドイツ語・フランス語)

第4時限:初修外国語演習科目

※英語 LR について

秋学期土曜日開講の英語 LR の履修対象者は 1 年生です。英語 LR/英語実習 1LR の再履修については、従来オンデマンド型の再履修科目を開講しているため、今回の代替申請には含まれません。履修方法の詳細は、秋学期開始直前に授業支援システム(【連絡専用】英語教育部)に掲示物が掲載されますので、必ず確認してください。

【参考】

※検定初修外国語科目について

外部検定試験について一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する「検定初修外国語科目」があります。1 言語につき 1 回まで、2 単位を認定するもので、卒業に必要な初修外国語の単位に算入することができます。対面授業に参加できない場合、単位修得の代替手段として、検定初修外国語科目の制度を活用することも検討してください。

※英語にも「検定英語」科目がありますが、卒業に必要な外国語科目の単位には算入されません。ただし、卒業に必要な全学教育科目の単位数の合計には算入されます。また、経済学部・経営学部では学部独自の制度がありますので、希望の場合は所属学部の学務係へ相談してください。

(2) 全学教育科目(英語・初修外国語以外)の代替措置

対面で実施する全学教育科目(英語・初修外国語以外、時間割表の記号:B)は、代替措置として遠隔授業は開講しません。

過半数以上の全学教育科目(英語・初修外国語以外)は、対面型以外の方法で開講されますので、対面型以外の方法で実施される科目を履修してください。

なお、再履修を希望する科目が対面型で開講されている場合は、同一区分(基礎科目(人文社会系、自然科学系)、グローバル教育科目、イノベーション教育科目)の未修得科目の中から対面型以外の方法で開講される科目を自身で選択して履修してください。

また、再履修手続きの詳細は、所属学部に必ず確認するようにしてください。

【本件問い合わせ先】

学務・国際戦略部 教育企画課 全学教育係

Mail: kyomu.kyoiku@ynu.ac.jp

※卒業・進級要件に関する質問は、所属学部の学務(教務)係へお問合せください。